

自主防災会で守る！

『安心して暮らせる自分たちのまち』

市 内では、全地区に自主防災会が組織されています。今回は、

昨年度「自主防災活動推進地区」として、六連コミュニティ協議会と清田校区コミュニティ協議会が取り組んだ活動をご紹介します。

◆六連コミュニティ協議会

【人口・世帯(3月末現在)】
1654名 582世帯

【概要】

本市の南東部に位置し、長上、久美原、浜田、百々、新浜の5自治会で構成されています。

【活動テーマ】

「災害に強い町を造ろう」

【主な活動内容】

- 1 耐震診断ローラー作戦
- 2 防災台帳の整備
- 3 避難訓練・避難所開設訓練
- 4 各種防災啓発活動(AED講習、エイティファイ運動会での防災競争)など

【活動成果】

避難訓練では、地震発生放送後、自治会ごとに集合し、指定避難所の六連

小学校へ向かいました。その際、避難時に

支援が必要な人の搬送にリヤカーを使うなどの工夫をしました。



●リヤカーを使って避難

避難所開設訓練では、役員は避難者の受け付けや炊き出し訓練などを行う中で、役割分担を明確にし、スムーズに避難所運営をするために協力し合うことの重要性を学び、他の参加者も避難生活の場となる体育館に入ることで狭さや過ごしにくさを体験しました。

また、従来の世帯台帳に「血液型」「日中の居場所」「災害時の協力体制(災害時に役立つ資格などの有無の確認)」などの情報を加えた防災台帳として再整備しました。

【今後の目標】

耐震診断ローラー作戦の結果、家屋の耐震診断や家具の転倒防止が未実施の世帯が多いことが分かり、回覧に

よる呼び掛けを継続していきます。

避難に支援や配慮が必要な方の把握や避難体制の充実を目指します。地震避難所となる六連小学校には水や食料などの備蓄品がないため、市や学校と連携・強化しながら備蓄品の充実を図ります。

防災リーダーを中心としながら、地域全体で防災活動を実施し、防災意識を向上させます。

◆清田校区コミュニティ協議会

【人口・世帯(3月末現在)】
2178名 737世帯

【概要】

本市の西北に位置し、福江市街地の東側で、山田、高木、折立、古田の4自治会で構成されています。

【活動テーマ】

「あらゆるある、安心で安全な清田」

【主な活動内容】

- 1 避難所開設・運営訓練
- 2 防災台帳更新
- 3 危険箇所点検、避難ルート見直し
- 4 女性用品の備蓄など

【活動成果】

避難所開設・運営訓練では、清田小学校に役員68名が集まり、避難者名簿作成や支援物資の受け入れ訓練などに取り組みました。校区全体での訓

練を行うこと

で、組織の中での自分の役割を確認し、お互いを知りましました。訓練の中で、女性用品が全く整っていなかったことが分かり、各地区の災害用物資として備蓄しました。



●避難者の情報整理を行う

防災台帳は、災害時はもちろんのこと、自治会行事を行う際にも役立つ内容のため、それぞれの地区に合ったものを作成し、市民館で書面で保管することにしました。

また、各地区で危険な場所を点検し、危険箇所マップを作成しました。避難ルートを見直した地区では、更新した避難マップを各戸配布しました。

【今後の目標】

避難所のトイレや食事など、配慮が必要な場面では、女性の視点を取り入れた避難所運営が重要であるため、自主防災組織への女性の参画を増やしていきたいと考えています。

そして、訓練を毎年行い、避難所を運営できる人材を充実させ、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の向上を図っていきます。

▼防災対策課 ☎23-3548